

市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう」作品展の報告

広大マスターズ会員 難波平人

市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう」（講師：難波平人）を10月31日（土）より4回にわたり開催し、受講生30名は安芸津町を丘の上からと漁港を各自2点画きました。

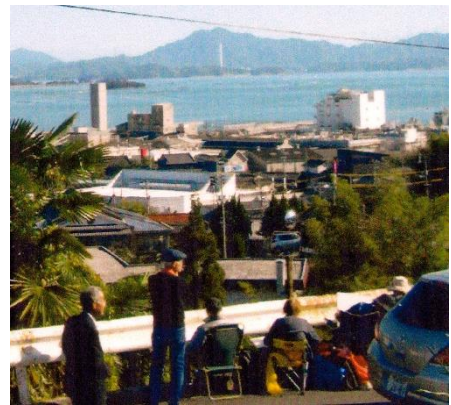
その成果の発表の場として、広島大学マスターズ主催で、作品展（3月28日（水）～4月2日（日）；「クララ」市民ギャラリー）を開催し、水彩画30点・油絵22点（計52点）の力作を発表しました。

初日の開会式では東広島市教育長の津森先生と広島大学マスターズ代表幹事の渡部先生にご挨拶を戴き、盛大に開幕しました。また、この市民講座での全制作過程を東広島ケーブルメディア（カモンケーブルテレビ）が収録・放映しましたが、再び展示会場で、その録画を放映したところ、製作途中と完成作品との比較ができ、とても良い企画だと好評でした。それに受講生からは、よく観察して画くことで安芸津町の魅力を再確認できたとの声を多く聞くことが出来ました。

なお、「作品展」への入場者は延べ1013名でした。



作品展会場



制作風景（安芸津町）